

V 試験研究発表題名

平成 26 年度 試験研究発表題名一覧

1. 篠宮佳樹, 山田毅, 稲垣善之, 吉永秀一郎, 鳥居厚志. 四万十川源流部の森林における硝酸態窒素の年間流出負荷量とその流出機構. 水環境学会誌, 37:91-101
2. 大貫靖浩, 吉永秀一郎, 釣田竜也, 荒木誠, 伊藤江利子, 志知幸治, 松浦陽次郎, 小野賢二, 岡本 透. 桂試験地における土層厚の分布と土壤物理特性. 森林総合研究所研究報告, 13 (2): 43-59
3. 今矢明宏, 金子真司, 吉永秀一郎, 高橋正通. 土壌への火山灰付加程度に応じたスギ林分材積量の差異. 日本土壤肥料学会講演要旨集, 60: 84
4. 奥田裕規. 里山と人の暮らしの関係を考える. 海上の森だより, 34
5. 奥田裕規. 田舎に暮らすこと. 森林と林業, 2014 年 12 月号, 4-5
6. 奥田裕規. 里山を考える. 森林総合研究所関西支所研究情報, 113: 1
7. Hironori Okuda (奥田裕規), Makoto Inoue (井上真). Endogenous Development and Collaborative Governance in Japanese Mountain Villages. Collaborative Governance of Forests Towards Sustainable Forest Resource Utilization, University of Tokyo Press
8. Shigehiro Ishiduka (石塚成宏), Kimiyasu Kawamuro (河室公康・南山大学), Akihiro Imaya (今矢明宏), Atsushi Torii (鳥居厚志), Kazuhito Morisada (森貞和仁). Latitudinal gradient of C₄ grass contribution to Black Soil organic carbon and correlation between $\delta^{13}\text{C}$ and the melanin index in Japanese forest stands (日本の森林における黒色土の有機炭素への C₄ 植物の寄与と, Melanic index と $\delta^{13}\text{C}$ の関係). Biogeochemistry 118: 339-355
9. 鳥居厚志. 「竹検定」問題. 京都竹カフェ第 1 回竹検定「初級」問題: 1-9
10. 鳥居厚志. 「竹検定」解答と解説. 京都竹カフェ第 1 回竹検定「初級」解答と解説: 1-9
11. 石塚成宏, 河室公康 (南山大), 今矢明宏, 鳥居厚志, 森貞和仁. 日本の森林の黒色土の有機物は緯度に応じて C₃・C₄ 植物の寄与率が変化し、メラニックスインデックスにも関係がある. 日本土壤肥料学会講演要旨集, 60: P5-1-1
12. 鳥居厚志. 近畿地方の森林土壌の生成とその特徴. 日本ペドロロジー学会第 23 回ペドロジスト・トレーニングコーステキスト: 10-24
13. 鳥居厚志. 「竹検定」問題. 京都竹カフェ第 2 回竹検定「初級」問題: 1-8
14. 鳥居厚志. 「竹検定」解答と解説. 京都竹カフェ第 2 回竹検定「初級」解答と解説: 1-8
15. 山本伸幸. フィンランド森林管理賦課金制度の生成・展開・終焉. 林業経済研究, 60 (2): 25-32
16. 山本伸幸. 別編 I 戦後林業史 / 1 章 森林資源政策と公共性 / 2 節 営林の監督と森林計画制度. 岩本純明編, 戦後日本の食料・農業・農村第 2 巻 (II) 戦後改革・経済復興期 II, 農林統計協会: 183-188
17. 山本伸幸. 別編 I 戦後林業史 / 1 章 森林資源政策と公共性 / 4 節 森林資源の助長. 岩本純明編, 戦後日本の食料・農業・農村第 2 巻 (II) 戦後改革・経済復興期 II, 農林統計協会: 195-202
18. 山本伸幸. 日本近代林政の把え方断章. 第 32 回林業経済学会研究会 BOX 「林政研究の課題と方法」第 3 回森林資源管理と制度・政策
19. 山本伸幸. 林業道具豆知識第 3 回 博物館. 森林総合研究所関西支所研究情報, 111: 4

20. Ikuhiro Hosoda (細田育広). Interrelation between hillslope soil moisture and stream flow in a Paleozoic sedimentary rock watershed (古生層堆積岩流域における山地斜面土壌水分と渓流水量の連動性). 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集 : AHW07-13
21. 細田育広. 地下水位の逓減曲線を用いた山地斜面地質の有効間隙率の推定. 水文・水資源学会研究発表会要旨集, 27: 306-307
22. 細田育広, 澤野真治. 将来の山地流域からの水資源供給 - 森林有無の差 -. 第 12 回環境研究シンポジウム「気候変動と科学技術～考えよう地球の未来!～」: 45
23. 細田育広. 基盤事業: 森林水文モニタリング- 竜ノ口山森林理水試験地 -. 森林総合研究所関西支所年報, 55: 35
24. 細田育広. 三を留め四を去れ、七を残すなかれ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 115: 1
25. 細田育広, 澤野真治. 竜ノ口山における将来の水流出 - CMIP5 気候シナリオデータを用いた推定 -. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 244
26. 石橋靖幸. ニホンジカ個体数管理技術の開発. 森林総合研究所関西支所研究情報, 112: 1
27. 石橋靖幸, 大井 徹, 澤田誠吾 (鳥根県中山間地域研究セ), 藤井 猛 (広島県自然環境課), 西信介 (鳥取県緑豊かな自然課), 有本勲 (石川県白山自然保護セ), 間宮寿頼 (富山県自然博物館), 山田孝樹 (四国自然史科学研究セ). 西日本のツキノワグマ個体群における MHC 遺伝子の多様性低下. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 179
28. 山田敏也 (北海道大), 杉木 学 (北海道大), 銭谷純平 (北海道大), 秋元佐紀 (北海道大), 石橋靖幸, 齊藤 隆 (北海道大). エゾヤチネズミ個体群の遺伝的空間構造の年次変化 - 個体数変動パターンが異なる 2 個体群間の比較 -. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PB2-075
29. YOSHIMURA Kazuhisa (吉村和久・九州大), KURISAKI Kousuke (栗崎弘輔・九州大), OKAMOTO Toru (岡本 透), FUJIKAWA Masayuki (藤川将之・秋吉台科学博物館), IKEDA Yoshifumi (池田善文・長登銅山文化交流館), YAMADA Tsutomu (山田 努・東北大), MATSUDA Hiroki (松田博貴・熊本大). Sulfide Ore Smelting at the Naganobori Copper Mine Recorded on Speleothems from the Ogiri No. 4 Pit on the Akiyoshi-dai Plateau, Yamaguchi, Japan (山口県秋吉台大切 4 号坑から得られた鍾乳石に記録された長登銅山における硫化鉱精錬). *ISIJ International*, 54: 1147-1154
30. 岡本 透. 写真にみる木曾路の山やまの変化. 森林総合研究所関西支所研究情報, 112: 3
31. 志知幸治, 池田重人, 岡本 透, 林 竜馬 (琵琶湖博物館). 秋田市女湯周辺における完新世中期以降のスギ林変遷. 日本花粉学会大会, 55: 10
32. MORI Akira (森 章・横浜国大), OTA T. Aino (太田藍乃・横浜国大), FUJII Saori (藤井佐織・横浜国大), SEINO Tatsuyuki (清野達之, 筑波大), KABEYA Daisuke (壁谷大介), OKAMOTO Tohru (岡本 透), ITO Masamichi T. (伊藤雅道・駿河台大), KANEKO Nobuhiro (金子信博・横浜国大), HASEGAWA Motohiro (長谷川元洋). Biotic homogenization and differentiation of soil faunal communities in the production forest landscape: Taxonomic and functional perspectives (生産林景観における土壌動物群集の生物相均質化と不均質化: 分類学的、機能的考察). *Oecologia*, 177: 533-544
33. 岡本 透. 温故知新 - 自然科学研究における歴史資料の活用のすすめ -. 森林立地 56 (2): 81-87
34. 志知幸治, 池田重人, 岡本 透, 林 竜馬 (琵琶湖博物館). 由利本荘市加田喜沼湿原の花粉分析に基づく完新世の森林変遷. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 283
35. 池田重人, 志知幸治, 岡本 透, 鳥山淳平, 林 竜馬 (琵琶湖博物館). 秋田県のスギ天然林における花粉分析結果からみた近世の人為的影響. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 283

36. 岡本 透, 池田重人, 志知幸治, 鳥山淳平, 林 竜馬 (琵琶湖博物館). 江戸時代以降の歴史資料にみる桃洞・佐渡のスギ原生林. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 284
37. 奥田史郎. この道はいつか来た道. 森林総合研究所関西支所研究情報, 114:1
38. 奥田史郎, 諏訪鍊平, 山下直子, 大原偉樹, 池田則男 (近中局森技セ), 矢野宣和 (近中局森技セ). 三季節に植栽したヒノキのコンテナ苗などの活着. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 65: 40
39. 稲垣善之, 宮本和樹, 伊藤武治, 北原文章, 酒井寿夫, 奥田史郎, 野口麻穂子, 光田 靖 (宮崎大). 高知県のヒノキ人工林における樹冠葉量の推定. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 65: 43
40. 奥村栄朗, 酒井 敦, 奥田史郎. 鬼ヶ城山系・三本杭におけるシカ被害調査と対策の状況 2005～2014. どう守る三嶺・剣山系の森と水と土－シカ被害対策を考える－シンポジウム (8)－資料集: 26-34
41. ITOU Takeharu (伊藤武治), HAYAMA Kayo (葉山佳代・小笠原環境計画研究所), SAKAI Atsushi (酒井 敦), TANOUCHI Hiroyuki (田内裕之・元森林総研), OKUDA Shiro (奥田史郎), KUSHIMA Hiromichi (九島宏道), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也). Developing an effective glyphosate application technique to control *Bischofia javanica* Blume, an invasive alien tree species in the Ogasawara Islands (小笠原諸島の侵略的外来種アカギに対するグリホサートを用いた効果的な駆除手法の開発). *Journal of Forest Research*, 20: 248-253
42. 奥田史郎, 諏訪鍊平, 山下直子, 大原偉樹, 池田則男 (近中局森技セ), 矢野宣和 (近中局森技セ). ヒノキ実生コンテナ苗を活用した植栽試験における苗木の活着と成長. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 253
43. 大原偉樹. モウソウチク林のタケノコの形態と発筈時期の違いによる生存期間の比較. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 65: 38
44. 大原偉樹. 生きた化石「コウヤマキ」とその保護林の紹介－和歌山森林管理署管内のコウヤマキ保護林－. 森林総合研究所関西支所研究情報, 115: 2
45. 杉田久志, 八木橋勉, 齋藤智之, 野口麻穂子, 櫃間岳, 八木貴信, 大原偉樹, 西園朋広, 澤田智志 (秋田県), 和田覚 (秋田県林業研究研修セ). スギ人工林に侵入した広葉樹との混交林施業－秋田県森吉山麓における10年間の林分構造変化－. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 87
46. 高橋和規. コブシ、キタコブシの生育状況に関する比較. 日本植物分類学会大会研究発表要旨集, 14: 40
47. 星崎和彦 (秋田県立大学), 安倍一博 (秋田県立大学), 松下通也, 野口麻穂子, 柴田銃江, 星野大介 (JIRCAS), 高橋和規, 大住克博 (鳥取大), 鈴木和次郎 (プナセンター), 正木 隆. 奥羽山系の溪畔混交林における種子生産の24年間の変動. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 85
48. 山下直子, 奥田史郎, 諏訪鍊平, 飛田博順, Thomas Lei (龍谷大理工). 地上部の比率が植栽初期のヒノキ苗の活着と成長に与える影響. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 65: 36
49. 山下直子, 奥田史郎, 諏訪鍊平, 飛田博順, Thomas Lei (龍谷大理工). ヒノキコンテナ苗の生存と成長に対する摘葉の効果. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 253
50. SUWA Rempei (諏訪鍊平), da Silva Fernando (INPA), Norbert Kunert (Max Plank Inst), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也), ISHIZUKA Moriyoshi (石塚森吉・森林総研フェロー), Niro Higuchi (INPA). Allometric equations for estimating biomass for a native palm species *Euterpe precatoria* in the Amazon (アマゾン原生ヤシ種 *Euterpe precatoria* のバイオマス推定式). Annual meeting of Association for Tropical Biology and Conservation, 51

51. Gabriel Henrique Pires de Mello Ribeiro (INPA), SUWA Rempei (諏訪鍊平), Daniel Magnabosco Marra (Max plank inst), Adriano Jose Nogueira Lima (INPA), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也), ISHIZUKA Moriyoshi (石塚森吉・森林総研フェロー), Niro Higuchi (INPA). Allometry for juvenile trees in an Amazonian forest after wind disturbance (アマゾンの風倒跡地における稚樹のアロメトリ). Annual meeting of Association for Tropical Biology and Conservation, 51
52. 梶本卓也, 野口英之, 大橋伸太, 佐藤保, 飯田滋夫, 八木橋勉, 諏訪鍊平, 大谷達也, 石塚森吉, 沢田治雄 (東京大学), 澤田義人 (東京大), 神藤恵司 (東京大), 遠藤貴宏 (東京大). ブラジル・アマゾンの森林炭素を測る. 森林総合研究所平成 26 年版研究成果選集, 36-37
53. 諏訪鍊平. マングローブの林分構造と生産力の緯度勾配. 海外の森林と林業, 91:36-41
54. 諏訪鍊平. 成長を調べて熱帯林の機能を知る - 困難でも魅力ある根の研究. グリーン・パワー, 431: 12
55. 諏訪鍊平. コンテナ苗の活用による林業の低コスト化. 森林総合研究所関西支所研究情報, 114: 2
56. SUWA Rempei (諏訪鍊平), SAKAI Takeshi (酒井 武), Joaquim dos Santos (INPA), Roseana Pereira da Silva (INPA), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也), ISHIZUKA Moriyoshi (石塚森吉, 森林総研フェロー), Niro Higuchi (INPA). Topographic gradient in stem diameter-height allometry for biomass estimation of a terra-firme forest in the central Amazon (中央アマゾンのテラフィルメにおける地形傾度に沿ったバイオマス推定のための幹直径 - 樹高アロメトリ). DYNAMICA DO CARBONO DA FLORESTA AMAZONICA, 73-82
57. OTANI Tatsuya (大谷達也), Adriano Jose Nogueira Lima (INPA), SUWA Rempei (諏訪鍊平), Marcio Rogerio Mota Amaral (INPA), OHASHI Shinta (大橋伸太), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也), ISHIZUKA Moriyoshi (石塚森吉), Niro Higuchi (INPA). Recovery process of tree biomass in selectively logged terra firme forest: a case study in the Precious Woods Amazon (択伐林の炭素蓄積回復過程、プレシヤスウッド社での事例). DYNAMICA DO CARBONO DA FLORESTA AMAZONICA, 65-71
58. Lucas K. Ourique (INPA), Cacilda A. S. Souza (INPA), Rosiane O. Silva (INPA), NOGUCHI Hideyuki (野口英之・森林総研 PD), SUWA Rempei (諏訪鍊平), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也), ISHIZUKA Moriyoshi (石塚森吉・森林総研フェロー), Joaquim dos Santos (INPA), Niro Higuchi (INPA). Relacao entre producao de seraphilheira e incremento em diametro de uma florest a madura na Amazonia central (中央アマゾンの成熟林における落葉落枝と直径成長との関係). DYNAMICA DO CARBONO DA FLORESTA AMAZONICA, 49-54
59. Da Silva Fernando (INPA), SUWA Rempei (諏訪鍊平), KAJIMOTO Takuya (梶本卓也), ISHIZUKA Moriyoshi (石塚森吉・森林総研フェロー), Niro Higuchi (INPA), Norbert Kunert (Max Plank Inst). Allometric Equations for Estimating Biomass of Euterpe precatoria, the Most Abundant Palm Species in the Amazon (アマゾンで最も多く生育しているヤシ種 Euterpe precatoria のバイオマス推定式). Forests, 6 (2): 450-463
60. 諏訪鍊平, 奥田史郎, 山下直子, 大原偉樹, 奥田裕規, 池田則男 (近中局森技セ), 矢野宣和 (近中局森技セ). ヒノキコンテナ苗の活着・成長特性. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 83
61. Mioko Ataka (安宅未央子・京都大), Yuji Kominami (小南裕志), Mayuko Jomura (上村真由子・日本大), Kenichi Yoshimura (吉村謙一・森林総研 PD), Chiyomi Uematsu (植松千代美・大阪市立大). CO₂ efflux from leaf litter focused on spatial and temporal heterogeneity of moisture (水分条件の時空間異方性に着目した葉リター分解に伴う CO₂ 放出量). Journal of Forest Research, 19: 295-300
62. Ataka M. (安宅未央子・京都大), Kominami Y. (小南裕志), Miyama T. (深山貴文), Yoshimura K. (吉村健一・森林総研 PD), Jomura M. (上村真由子・日本大), Tani M. (谷 誠・京都大). Using capacitance sensors for the continuous measurement of the water content in the litter layer of forest soil (森林リター層含水率の連続測定のための静電容量型センサーの適用). Applied and Environmental Soil Science, 2014: <http://dx.doi.org/10.1155/2014/627129>

63. M. Ataka (安宅未央子・京都大), Y. Kosugi (小杉緑子・京都大), Y. Kominami (小南裕志). In Situ CO₂ Efflux from Leaf Litter Layer Showed Large Temporal Variation Induced by Rapid Wetting and Drying Cycle. PloS one, 9 (10): e108404
64. 小南裕志, 檀浦正子 (京都大), 吉村謙一 (森林総研 PD), 上村真由子 (日本大), 安宅未央子 (京都大), 佐々木隆史 (京都大), 和田 佳子 (京都大). 第4章 炭素をめぐる人と森の関係. 都市・森・人をつなぐ 森の植物園からの提言, 京都大学学術出版会: 229-318
65. 小南裕志, 吉村謙一 (森林総研 PD), 安宅未央子 (京都大), 檀浦正子 (京都大), 衣浦晴生. 簡易 HRM 法を用いた萎凋病コナラの蒸散特性の測定. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 261
66. 孫 麗娟 (京都大), 小南裕志, 吉村謙一 (森林総研 PD), 北山兼弘 (京都大). Interaction of tree species and rhizosphere microbial N mining in four temperate canopy species (暖温帯4樹種を用いた窒素吸収における菌根菌の相互作用). 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA1-180
67. 佐藤 開, 安宅未央子 (京都大), 檀浦正子 (京都大), 小南裕志. 落葉分解呼吸速度と微生物バイオマスの季節変化 - L・F 層間、尾根・谷間の違い. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 118
68. 中嶋聖徳, 小野田雄介 (京都大), 小南裕志, 北山兼広 (京都大). 風による幹のひずみ観測から明らかにする尾根・谷間の樹形の違い. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA1-070
69. 小南裕志, 吉村謙一 (森林総研 PD), 安宅未央子 (京都大), 檀浦正子 (京都大). 落葉広葉樹林の長期炭素収支動態推定. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA2-204
70. 安宅未央子 (京都大), 小南裕志, 吉村謙一 (森林総研 PD), 深山貴文・谷 誠 (京都大). 落葉広葉樹林における分解呼吸速度の季節的なヒステリシス. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA1-178
71. 安宅未央子 (京都大), 小南裕志, 吉村謙一 (森林総研 PD), 深山貴文, 谷 誠 (京都大). 暖温帯林における落葉分解呼吸速度の時空間変動. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 145
72. 松井哲哉, 中尾勝洋, 安田正次, 中園悦子, 津山幾太郎, 大橋春香, 大丸裕武, 小南裕志, 田中信行. 気候変動による森林植生への影響評価・検出および適応策の事例. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 283
73. 松井哲哉, 中尾勝洋, 津山幾太郎, 大橋春香, 小出 大, 中園悦子, 安田正次, 小南裕志, 大丸裕武, 田中信行. 地球温暖化が日本の天然林植生分布に及ぼす影響の評価. 生研フォーラム論文集, 23: 69-70
74. Junko Nagakura (長倉淳子), Akio Akama (赤間亮夫), Hidetoshi Shigenaga (重永英年), Takeo Mizoguchi (溝口岳男), Takashi Yamanaka (山中高史), Ayumi Tanaka-Oda (田中 (小田) あゆみ), Takeshi Tange (丹下健, 東京大). Changes in the nutrient status of sugi (*Cryptomeria japonica*) following seven years of nitrogen fertilization (7年間窒素添加を受けたスギの養分状態の変化). Abstract book of 6th international symposium on physiological processes in roots of woody plants (第6回国際樹木根会議要旨集)
75. 溝口岳男. 樹木実生間の競合と菌根. 森林総合研究所関西支所研究情報, 114: 3
76. 伊藤嘉昭 (京都大), 福島 整 (物質材料研), 山下満 (兵庫県立工業技術セ), 矢崎一史 (京都大), 杉山暁史 (京都大), 谷川東子, 平野恭弘 (名古屋大). 土壌の全カルシウム含量は、土壌の酸緩衝能に影響を与えるか?. 2014 (平成 26) 年度生存圏ミッションシンポジウム
77. 松田陽介 (三重大), 高梨功次郎 (京都大), 谷川東子. 菌根菌がクロマツ実生の生育に及ぼす影響と耐塩性付与機能の解明. 2014 (平成 26) 年度生存圏ミッションシンポジウム

78. Tanikawa T (谷川東子), Sobue A (祖父江彩香・名古屋大), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Deteriorations of forest soils with low acid buffering capacity in *Cryptomeria japonica* and *Chamaecyparis obtusa* stands during two decades (酸緩衝能が低い土壤に成立するスギ林とヒノキ林の、20 年間にわたる土壤の劣化). World congress of soil science, 20: 133
79. Tanikawa T (谷川東子), Dannoura M (壇浦正子・京都大), Yamase K (山瀬敬太郎・兵庫県森林セ), Ikeno H (池野英利・兵庫県立大), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Reply to: "Comment on root orientation can affect detection accuracy of ground-penetrating radar". Plant and Soil 380:445-450 ("Comment on root orientation can affect detection accuracy of ground-penetrating radar" に対する返事). Plant and Soil, 380:445-450
80. Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大), Dannoura M (京都大), Yamase K (山瀬敬太郎, 兵庫県森林セ), Tanikawa T (谷川東子), Aono K (青野健一・KANSO), Ikeno H (池野英利・兵庫県立大), Ohashi M (大橋瑞江・兵庫県立大), Kanazawa Y (金澤洋一・神戸大). Non-destructive detection of tree coarse roots using ground-penetrating radar (地中レーダによる非破壊樹木根の探査). International symposium on physiological processes in roots of woody plants, 6: 60
81. Tanikawa T (谷川東子), Dannoura M (京都大), Yamase K (山瀬敬太郎, 兵庫県森林セ), Aono K (青野健一・KANSO), Ikeno H (池野英利・兵庫県立大), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Interference of leaf litter layer with detection of tree roots by ground-penetrating radar (地中レーダによる樹木根の検出に、リター層が与える影響). International symposium on physiological processes in roots of woody plants, 6: 61
82. Kakizoe T (柿添哲也・兵庫県立大), Ikeno H (池野英利・兵庫県立大), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大), Tanikawa T (谷川東子), Dannoura M (京都大), Yamase K (山瀬敬太郎・兵庫県森林セ), Aono K (青野健一・KANSO), Todo C (藤堂 千景・兵庫県森林セ), Ohashi M (大橋瑞江・兵庫県立大). Detection of coarse root structure of Japanese black pine (*Pinus Thunbergii*) growing in a sea coast in Aichi prefecture, Japan (愛知県海岸クロマツ林における根の地中レーダによる探査). International symposium on physiological processes in roots of woody plants, 6: 61
83. Yamase K (山瀬敬太郎・兵庫県森林セ), Todo C (藤堂 千景・兵庫県森林セ), Ohashi M (大橋瑞江・兵庫県立大), Ikeno H (池野英利・兵庫県立大), Tanikawa T (谷川東子), Dannoura M (京都大), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Pull-out resistance of coarse root segments is related to root architecture (樹木根の引っ張り抵抗力は根の形状に関係している). International symposium on physiological processes in roots of woody plants, 6: 62
84. Ikeno H (池野英利・兵庫県立大), Ohashi M (大橋瑞江・兵庫県立大), Kimura T (木村敏文・兵庫県立大), Todo C (藤堂 千景・兵庫県森林セ), Yamase K (山瀬敬太郎・兵庫県森林セ), Dannoura M (京都大), Tanikawa T (谷川東子), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Development of image processing scheme for morphological properties of woody root (樹木根の形態特徴を画像で捉える技術の発展). International symposium on physiological processes in roots of woody plants, 6: 46
85. 柿添哲也 (兵庫県立大), 池野英利 (兵庫県立大), 平野恭弘 (名古屋大), 谷川東子, 壇浦正子 (京都大), 山瀬敬太郎 (兵庫県森林セ), 青野健治 (KANSO), 藤堂千景 (兵庫県森林セ), 大橋瑞江 (兵庫県立大). 愛知県のクロマツの海岸林における樹木根の形態の検出. 根研究集会, 41
86. 宮谷紘平 (名古屋大), 谷川 東子, 牧田直樹, 平野恭弘 (名古屋大). 東海地方に生育するヒノキ林細根の窒素濃度と呼吸速度. 中部森林学会大会プログラム・講演要旨集, 4: 19
87. Toko Tanikawa (谷川東子), Yohey Hashimoto (橋本洋平・東京農工大), Noriko Yamaguchi (山口紀子・農環研), Yoshiaki Ito (伊藤嘉昭・京都大), Sei Fukushima (福島整・物質材料研), Kazuhiro Kanda (神田一浩・兵庫県立大), Masaharu Uemura (上村雅治・SALLC), Takayuki Hasegawa (長谷川孝行・SALLC), Masamichi Takahashi (高橋正通), Shuichiro Yoshinaga (吉永秀一郎). Sulfur accumulation in Melanodands during development by upbuilding pedogenesis since 14–15cal. ka (14000-15000 年間にわたり黒色土メラニューダンドが累積的に発達する過程で蓄積したイオウ化合物の特徴). Geoderma, 232: 609-618

88. Hirano Y (平野恭弘・名古屋大), Tanikawa T (谷川東子), Dannoura M (壇浦正子・京都大), Yamase K (山瀬敬太郎・兵庫県森林セ), Aono K (青野健一・KANSO), Ikeno H (池野英利・兵庫県立大). Root Detection of Various Tree Species using ground penetrating radar (様々な樹種の根を地中レーダにより検出する). The 1st annual meeting of Cost Action FP1305 Biolink: 39
89. Tanikawa T (谷川東子), Sobue A (祖父江彩香・名古屋大), Hirano Y (平野恭弘・名古屋大). Acidification processes in soils with different acid buffering capacity in *Cryptomeria japonica* and *Chamaecyparis obtusa* forests over two decades (酸緩衝能が大きく異なる土壤に成立したスギ林およびヒノキ林の20年間にわたる土壤酸性化の過程). *Forest ecology and management*, 334: 284-292
90. 石塚成宏, 三浦覚, 橋本昌司, 平井敬三, 阪田匡司, 長倉淳子, 野口享太郎, 橋本 徹, 小野賢二, 谷川東子, 酒井寿夫, 森下智陽, 重永英年, 酒井佳美. 新たな土壤炭素モデルの構築と必要パラメーターの取得. 地球温暖化の中で森林を活かす(農林水産省平成26年度委託プロジェクト研究 気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集): 40
91. 谷川東子, 吉永秀一郎, 高橋正通. 日本の火山灰土壤におけるイオウ化合物と遊離酸化物の時空間的親和性. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA2-227
92. 谷川東子, 吉永秀一郎, 高橋正通. テフクロロジーによる火山灰土壤におけるイオウ蓄積速度の推定.. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 269
93. 山川舞 (三重大), 小長谷啓介 (University of Florida Department of Plant Pathology), 谷川東子, 松田陽介 (三重大). 塩化ナトリウムがクロマツ - *Cenococcum geophilum* 菌根共生系に及ぼす影響. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 185
94. 上杉天志 (三重大), Chien-Fan Chen (台湾行政院), Man Kyu Huh (東義大), 谷川東子, 瀬井龍蔵 (アドウイング), 橋本靖 (帯広畜産大), 八亀高広 (国立科博), 村田政穂 (東京大), 松田陽介 (三重大). イチヤクソウ (ツツジ科) の菌根菌選好性は地域によって変化するか?. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA1-110
95. 上杉天志 (三重大), Chien-Fan Chen (台湾行政院), Man Kyu Huh (東義大), 谷川東子, 瀬井龍蔵 (アドウイング), 橋本靖 (帯広畜産大), 谷川高広 (国立科博), 村田政穂 (東京大), 奈良一秀 (東京大), 松田陽介 (三重大). 異なる地域に生育するイチヤクソウ (ツツジ科) の菌根菌群集構造. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 159
96. 宮谷紘平 (名古屋大), 虫明瑞葵 (名古屋大), 市川康太 (名古屋大), 谷川東子, 平野恭弘 (名古屋大). 高硝酸濃度土壤に生育するヒノキ林構成樹種の細根呼吸速度と形態特性. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 93
97. 多田泰之, 地下流水音による斜面崩壊の発生場所の予測手法の開発, 斜面崩壊対策技術 - メカニズム・センシング・監視システム・新施工法 -, エヌ・ティー・エス : 218-231
98. 海堀正博 (広島大), 木下篤彦 (土木研究所), 高原晃宙 (土木研究所), 多田泰之, 長野英次 (朝日航洋), 馬場茂彰 (朝日航洋), 荒木義則 (中電技術コンサルタント), 杉原成満 (中電技術コンサルタント), 島田徹 (国際航業), 堀大一郎 (国際航業), 小泉和也 (国際航業). 2013年7月の山口・島根集中豪雨の特徴と土砂災害の実態. 砂防学会研究発表会概要集, 63: 3-4
99. 多田泰之. 国土の風水害への耐性を考える. 森林総合研究所関西支所研究情報, 112: 2
100. 多田泰之, 三森利昭, 大丸裕武. 平成25年7月28日島根県津和野町における集中豪雨による土砂災害. 水利科学, 65 (5) : 58-64
101. 多田泰之. 斜面崩壊発生場所の予測手法に関する研究. 日本農学進歩賞講演要旨, 13: 27-30
102. 窪野高德, 市原優, 阪上宏樹 (九州大). 菌類を用いた花粉症起因植物に対する花粉飛散防止の可能性. 東北森林科学会講演要旨集, 19: 60

103. 高畑義啓, 秋庭満輝, 升屋勇人, 市原 優, 廣岡裕吏 (カナダ農商務省), 壽田智久 (福島県), 山本茂弘 (静岡県), 矢田 豊 (石川県), 阪上宏樹 (九州大), 窪野高德. 熊本県におけるスギ黒点病菌によるスギ花粉飛散抑制の可能性. 九州森林学会大会要旨, 70: 612
104. 升屋勇人, 石原 誠, 市原 優, 山口岳広, 神崎菜摘. ニレ類立枯病菌の病原力評価. 樹木医学会大会要旨, 19: 16
105. 高畑義啓, 秋庭満輝, 升屋勇人, 市原 優, 廣岡裕吏 (カナダ農商務省), 壽田智久 (福島県), 山本茂弘 (静岡県), 矢田 豊 (石川県), 阪上宏樹 (九州大), 窪野高德. 熊本県におけるスギ黒点病菌によるスギ花粉飛散抑制の可能性. 九州森林研究, 68: 135-137
106. 市原 優. 東北地方におけるマツ材線虫病とマツノマダラカミキリの 30 年間の分布変遷. 森林防疫, 64 (2): 35-42
107. 市原 優, 升屋勇人. シラカンに発生した堅果菌核病. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 158
108. 池田虎三 (石川県農林総合研究セ林試), 千木 容 (石川県農林総合研究セ林試), 市原 優. アスナロ属の樹幹に対する *Cistella japonica* の接種試験. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 229
109. 深山貴文, 宮下俊一郎, 奥村智憲 (京都大), 高梨聡. アカマツ林床における α -ピネン放出の空間分布特性. 生物起源微量ガスワークショップ講演要旨集, 4: 21
110. 深山貴文, 宮下俊一郎, 奥村智憲 (京都大学), 高梨聡. アカマツ林床におけるリター層からの α -ピネン放出特性. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 241
111. Ishikawa NF (石川尚人・海洋研究開発機構), Kato Y (加藤義和・京都大生態研), Togashi H (富樫博幸・水研セ), Yoshimura M (吉村真由美), Yoshimizu C (由水千景・京都大生態研), Okuda N (奥田 昇・京都大生態研), Tayasu I (陀安一郎・京都大生態研). Stable nitrogen isotopic composition of amino acids reveals food web structure in stream ecosystems (アミノ酸の窒素同位体比と食物網). *Oecologia*, 175 (3): 911-922
112. 陀安一郎 (京都大生態研), 加藤義和 (京都大生態研), 石川尚人 (海洋研究開発機構), 由水千景 (京都大生態研), 原口 岳 (京都大生態研), 奥田 昇 (京都大生態研), 徳地直子 (京都大フィールド研), 神松幸弘 (京都大生態研), 富樫博幸 (水研セ), 吉村真由美, 大手信人 (東京大農), 近藤倫生 (龍谷大). 安定同位体比によって測定された栄養構造が示す生物多様性指標について. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集: MIS21-13
113. 大手信人 (東京大農), 富樫博幸 (水研セ), 徳地直子 (京都大フィールド研), 吉村真由美, 加藤義和 (京都大生態研), 石川尚人 (海洋研究開発機構), 近藤倫生 (龍谷大), 陀安一郎 (京都大生態研). 河川への人為起源窒素の負荷が水棲生物の食物網構造に与える影響. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集: MIS21-16
114. SATO Takuya (佐藤拓哉・神戸大), YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美). Fish assemblages in headwater tributaries of the Agano River System, Japan (阿賀野川源流の魚群集). *Fisheries Science*, 80: 493-498
115. YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美), YOKODUKA Tetsuya (横塚哲也・栃木水試). Radioactive contamination of fishes in lake and streams impacted by the Fukushima nuclear power plant accident (福島第一原発事故による魚への影響). *Science of the Total Environment*, 482-483: 184-192
116. YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美). The relation between egg hatching and photoperiod in *Amphinemura* sp. (Plecoptera) (卵孵化と光周性). *Biological Rhythm Research*, 45: 739-746
117. 吉村真由美, 横塚哲也 (栃木水試), 赤間亮夫. 中禅寺湖周辺河川における水生生物の汚染状況について. 日本陸水学会大会講演要旨集, 79: 104

118. Ken Sugimura (杉村 乾・長崎大), Kentaro Yoshida (吉田謙太郎・長崎大), Toshiya Matsuura (松浦俊哉), Masayoshi Takahashi (高橋正則), Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Economic evaluation of the ecosystem services provided by naturally regenerated forests with heavy snow in Japan (日本豪雪地帯における生態系サービスの経済評価). Abstract book of 7th Annual ESP Conference 2014, ES_Partnership_CostaRica
119. YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美), AKAMA Akio (赤間亮夫). Radioactive contamination of aquatic animals in stream impacted by the Fukushima nuclear power plant accident (福島第一原発事故による水生生物への影響). Abstract book of XXIV International Union of Forest Research Organizations (IUFRO): B-20
120. 吉村真由美. FDNPP 事故での放射性セシウム放出による水生昆虫の汚染. 昆虫と自然, 49 (12) : 22-24
121. Ishikawa N.F. (石川尚人・海洋研究開発機構), Togashi H. (冨樫博幸・水研セ), Kato Y. (加藤義和・京都大生態研), Yoshimura M. (吉村真由美), Kohmatsu Y. (神松幸弘・京都大生態研), Yoshimizu C. (由水千景・京都大生態研), Ogawa N.O. (小川奈々子・海洋研究開発機構), Ohkouchi N. (大河内直彦・海洋研究開発機構), Ohte N. (大手信人・東京大農), Tokuchi N. (徳地直子・京都大フィールド研), Tayasu I. (陀安一郎・京都大生態研). Terrestrial-aquatic linkage on stream food webs along a forest chronosequence: multi-isotopic evidence (渓流域における陸域-水域関係). The ecological Society of Japan, 62 : G1-09
122. 冨樫博幸 (水研セ), 石川尚人 (海洋研究開発機構), 加藤義和 (京都大), 吉村真由美, 神松幸弘 (京都大), 由水千景 (京都大), 徳地直子 (京都大), 大手信人 (東京大), 陀安一郎 (京都大). マルチアイソトープ解析による森林施業が河川生態系へ及ぼす長期的影響とその解明. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PB2-044
123. 吉村真由美. 渓流性底生動物群集と生息流域の地質構造との関係. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集, 59 : 39
124. Hiroki Itô (伊東宏樹), Teruaki Hino (日野輝明・名城大), Hiroshi Takahashi (高橋裕史). Optimum density of sika deer for tree seedling survival (樹木実生の生存に最適なニホンジカ生息密度). Journal of Wildlife Management, 78 (4): 739-746
125. 高橋裕史. 森林用ドロップネットと運用方法の開発. JATAFF ジャーナル, 2 (5): 57
126. 高橋裕史. 森林用ドロップネットで効率よくシカを捕獲する. 森林と林業, 2014 年 5 月号 : 14-15
127. 高橋裕史, 松浦友紀子, 伊吾田宏正 (酪農学園大). ニホンジカ低密度実現・維持に向けた課題: 捕獲とモニタリングを中心に. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 25
128. 松浦友紀子, 高橋裕史, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 池田 敬 (東京農工大), 東谷宗光 (酪農学園大), 梶光一 (東京農工大), 吉田剛司 (酪農学園大). 密度低減のための捕獲シナリオー減らしてからが勝負!-. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 36
129. 池田 敬 (東京農工大), 高橋裕史, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 松浦友紀子, 東谷宗光 (酪農学園大), 丸智明 (酪農学園大), 吉田剛司 (酪農学園大), 梶 光一 (東京農工大). 目標密度達成へのモニタリング手法の開発. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 36
130. 梶 光一 (東京農工大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農学園大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 松浦友紀子, 池田 敬 (東京農工大), 日野貴文 (酪農学園大), 東谷宗光 (酪農学園大). 洞爺湖中島におけるエゾシカの体サイズと生活史特性の密度依存的な変化. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 43
131. 久保麦野 (東京大), 吉田剛司 (酪農学園大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 高橋裕史, 石崎真理 (東京農工大), 三ツ矢綾子 (東京農工大), 竹下和貴 (東京農工大), 池田敬 (東京農工大), 梶 光一 (東京農工大). 洞爺湖中島のニホンジカでみられた歯の磨耗速度と歯牙形態の時代変化. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 43
132. 永田純子, 高橋裕史, 梶 光一 (東京農工大). ニホンジカ個体群導入後の個体群動態と遺伝的多様性の経年変化. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 44

133. 吉田遼人 (酪農学園大), 日野貴文 (酪農学園大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農学園大). 北海道西部の支笏湖畔がエゾシカの一大越冬地となった要因と性構成. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 193
134. Koichi Kaji (梶 光一, 東京農工大), Hiroshi Takahashi (高橋裕史), Tsuyoshi Yoshida (吉田剛司, 酪農学園大), Hiromasa Igota (伊吾田宏正, 酪農学園大), Yukiko Matsuura (松浦友紀子), Takashi Ikeda (池田 敬, 東京農工大), Takafumi Hino (日野貴文, 酪農学園大), Munemitsu Azumaya (東谷宗光, 酪農学園大). Density-dependent effects on body mass and reproduction in sika deer (ニホンジカの体重と繁殖に及ぼす密度依存効果). The Wildlife Society' 21st Annual Conference, Session #56, Presentation #27
135. Takashi Ikeda (池田 敬・東京農工大), Hiroshi Takahashi (高橋裕史), Hiromasa Igota (伊吾田宏正・酪農学園大), Yukiko Matsuura (松浦友紀子), Tsuyoshi Yoshida (吉田剛司・酪農学園大), Kazutaka Takeshita (竹下和貴・東京農工大), Koichi KAJI (梶 光一・東京農工大). Evaluation of Random Encounter Model from camera-trap survey for a sika deer population (ニホンジカ個体数推定のためのカメラトラップ調査に基づくランダムエンカウンターモデルの評価). The Wildlife Society' 21st Annual Conference, Session #56, Presentation #57
136. 池田 敬 (東京農工大), 高橋裕史, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 松浦友紀子, 東谷宗光 (酪農学園大), 吉田剛司 (酪農学園大), 竹下和貴 (東京農工大), 梶 光一 (東京農工大). 連続的な捕獲圧によるニホンジカの活動パターンの変化. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PB1-089
137. 竹下和貴 (東京農工大), 石崎真理 (東京農工大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農学園大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 池田敬 (東京農工大), 三ツ矢綾子 (東京農工大), 久保麦野 (東京大), 梶 光一 (東京農工大). 密度依存的な餌資源制限下におけるニホンジカの歯の摩滅速度と平均寿命の時間的な変化. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PB1-062
138. 池田 敬 (東京農工大), 高橋裕史, 松浦友紀子, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 吉田剛司 (酪農学園大), 梶 光一 (東京農工大). 森林地域におけるカメラトラップ法を用いたニホンジカの密度推定手法の確立. 日本森林学会大会学術講演集, 126:139
139. 近藤穂高 (北海道大), 上田宏一郎 (北海道大), 鈴木正嗣 (岐阜大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 高橋裕史, 松浦友紀子, 池田 敬 (東京農工大), 近藤誠司 (北海道大). 異なる餌資源下における野生エゾシカの第一胃推定表面積の季節変化. 日本畜産学会大会, 119, III 29-02
140. SEKI Shin-Ichi (関 伸一), SATO Shigeho (佐藤重穂), FUJIKI Daisuke (藤木大介・兵庫県森林動物研究セ). Assessing changes in bird communities along gradients of undergrowth deterioration in deer-browsed hardwood forests of western Japan (西日本の落葉広葉樹林における下層植生衰退勾配に応じた鳥類群集の変化をとらえる). *Forest Ecology and Management*, 320: 6-12
141. 関 伸一. カラスバトはなぜ離島好き?. *BIRDER*, 28 (7): 40-41
142. 関 伸一. 島の魅力的な固有種たち: アカヒゲ. *BIRDER*, 28 (8): 24
143. SEKI Shin-Ichi (関 伸一). To stay or not to stay on isolated islets?: Identifying the migratory status of robins based on the year-long operation logs of automatic photo and sound recording systems (孤島にとどまるべきか否か? 自動記録装置でコマドリ類の渡り行動を特定する). *Ornithological Science*, 13 (Supplement): 403
144. 関 伸一. ホントウアカヒゲ. レッドデータブック 2014 2 鳥類 日本の絶滅のおそれのある野生生物, ぎょうせい: 122-123
145. 関 伸一. アカヒゲ. レッドデータブック 2014 2 鳥類 日本の絶滅のおそれのある野生生物, ぎょうせい: 214-215

146. 関 伸一. 生きもの日誌 <20> ヤマガラ：芸達者な愛嬌者. グリーン・エージ, 491: 34-36
147. 関 伸一. 広辞苑を3倍楽しむ <75> うるさい. 科学, 84: 1106
148. 佐藤重穂, 関 伸一. 東中国山地氷ノ山におけるソウシチョウおよび在来鳥類群集に対してニホンジカの及ぼす影響. 森林総合研究所四国支所年報, 55: 23-24
149. 関 伸一. アカヒゲの渡りを追う. BIRDER, 29 (1): 18-19
150. 鈴木正嗣 (岐阜大), 八代田千鶴. シカ捕獲事業における体制論と手法論：シャープシューティングをめぐる考え方の整理 (ニホンジカシリーズ). 水利科学, 336, 9-20
151. 安田雅俊, 八代田千鶴, 関 伸一, 小高信彦. ワイルドライフイメージング研究会 (第2回) 自動撮影法：あの人の極意、私の工夫. 哺乳類科学, 54 (1): 107-109
152. 八代田千鶴, 小泉 透. シカの行動を制御して効率よく捕獲する. 森林総合研究所平成26年版研究成果選集, 48-49
153. 八代田千鶴. 似て非なる動物－シカとカモシカ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 113: 2
154. 八代田千鶴. シカの管理における今後の展望. 四国の森を知る, 22, 4-5
155. 藤井栄 (徳島県立農林水産総合技術支援セ), 森 一生 (徳島県), 北原文章, 八代田千鶴, 奥村栄朗. GPS 首輪による再造林計画地周辺のニホンジカの行動把握. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 139
156. 中村大輔 (自然環境研究セ), 荒木良太 (自然環境研究セ), 大橋正孝 (静岡県森林・林業研究セ), 八代田千鶴, 枝澤 修 (静岡森林管理署), 松坂勝士 (静岡森林管理署), 神長宏和 (静岡森林管理署), 井本 萌 (静岡森林管理署), 岩崎秀志 (NPO 法人若葉), 早川五男 (NPO 法人若葉), 小泉 透. 静岡県富士山南西麓におけるニホンジカ誘引狙撃のための給餌の効果. 日本哺乳類学会大会プログラム・講演要旨集, 2014: 107
157. 八代田千鶴. 栄養学的観点からみたエゾシカの環境収容力の推定. 獣医畜産新報, 67 (9): 651-655
158. 安田雅俊, 八代田千鶴, 栗原智昭 (MUZINA Press). 高千穂町におけるカモシカの自動撮影調査. わいるどらいふ, 36: 5
159. 安田雅俊, 八代田千鶴, 栗原智昭 (MUZINA Press). 国の特別天然記念物・天然記念物に指定されている森林性哺乳類2種の九州における現状. 九州森林学会, 70, 講演番号 608 (<http://ffpsc.agr.kyushu-u.ac.jp/jfs-q/2014menu/>)
160. 八代田千鶴, 森元萌弥 (岐阜大), 中須真史 (宮川森林組合), 岡本宏之 (宮川森林組合), 鈴木正嗣 (岐阜大). 広葉樹植栽地における捕獲実施によるシカ出没状況への影響. 「野生生物と社会」学会大会講演要旨集, 20: 128
161. 八代田千鶴. これからの森林とシカの管理～改正鳥獣法をふまえた今後の展望. 「野生生物と社会」学会大会講演要旨集, 20: 19
162. 八代田千鶴. 特集：野生動物による森林被害 シカによる森林被害発生の経緯と今後の展望. 日本森林インストラクター協会会報, 122, 4-5
163. 八代田千鶴. シカとうまく付き合う：これからのシカ管理. サントリー水科学フォーラム 2014 要旨集: 6
164. 安田雅俊, 八代田千鶴. カモシカを自動撮影する. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 34-35
165. 八代田千鶴. ニホンジカのくらし. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 40-41
166. 八代田千鶴. シカが増えたのはオオカミの絶滅が原因?. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 42-43

167. 八代田千鶴. シカによる森林被害と対策. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 44-45
168. 八代田千鶴. シカの数进行コントロールする. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 46-47
169. 八代田千鶴. イノシシのごちそう、イノシシはごちそう. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 48-49
170. 安田雅俊, 八代田千鶴. 九州におけるヒトの増加と生物多様性. くまもとの哺乳類, 熊本野生生物研究会編: 242-245
171. 安田雅俊, 八代田千鶴, 栗原智昭 (MUZINA Press). 自動撮影法による九州におけるカモシカの新たな生息地の確認. 九州森林研究, 68: 133-134
172. 八代田千鶴. シカとどう付き合う? ~鳥獣法の改正とこれからの野生動物管理~. 熊本野生生物研究会機関誌サイネポスト, 30 (1): 4-5
173. 衣浦晴生. ナラ枯れのしくみと現状. ぐりーん・もあ, 65: 30-31
174. 衣浦晴生. 第7章第4節 ナラ枯れの診断と防除. 最新・樹木医の手引き (改訂4版): 422-433
175. 所 雅彦, 衣浦晴生, 大谷徳栄 (和歌山県林試), 加藤 徹 (静岡県森林研セ). 太平洋型カシノナガキクイムシ穿入木の揮発性成分について-室内試験の結果-. 関東森林学会大会講演要旨集, 4: 14
176. 福田秀志 (日本福祉大健康), 小堀英和 (樹木医会愛知), 平田晋一 (日本福祉大健康), 衣浦晴生. 知多半島におけるナラ枯れ総合防除の効果-未防除被害地と比較して-. 中部森林学会大会講演要旨集, 4: 12
177. 福田秀志 (日本福祉大健康), 平田晋一 (日本福祉大健康), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. 改良されたナラ枯れ防除法の効果と知多半島における被害拡大状況. 樹木医学研究, 18 (4): 118-119
178. 衣浦晴生, 所 雅彦, 後藤秀章, 栗生 剛 (和歌山県). プナ科樹木萎凋病に対するスタジイでの殺菌剤注入技術とその他常緑樹への展開. 森林防疫, 63 (6): 21-24
179. 大谷栄徳 (和歌山県林試), 山下由美子 (和歌山県林試), 栗生 剛 (和歌山県), 衣浦晴生, 長谷川絵里. カシノナガキクイムシによるウバメガシの穿孔被害と被害軽減対策の開発. 森林防疫, 63 (6): 32-35
180. 所 雅彦, 岡田充弘 (長野県林セ), 齊藤正一 (山形県森林研究研修セ), 大橋章博 (岐阜県森林研), 衣浦晴生, 猪野正明 (サンケイ化学), 吉濱 健 (サンケイ化学). カシノナガキクイムシ誘引物質の探索. 森林防疫, 63 (6): 8-14
181. 福田秀志 (日福大健康), 高瀬一輝 (日福大健康), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. カシノナガキクイムシ (*Platypus quercivorus*) による被害初期林分における「おとり木」の効果-愛知県知多半島における事例-. 樹木医学会大会講演要旨集, 19: 11
182. 衣浦晴生, 所 雅彦, 後藤秀章, 猪野正明 (サンケイ化学) 廣田智美 (サンケイ化学). 秋季に殺菌剤を樹幹注入したスタジイのナラ枯れ予防効果. 日本森林学会大会学術講演集, 126 :286
183. 衣浦晴生, 所 雅彦, 後藤秀章, 猪野正明 (サンケイ化学) 廣田智美 (サンケイ化学). 殺菌剤を樹幹注入したアラカシへのナラ菌の接種. 日本生態学会大会講演要旨, 62: PA2-108
184. 衣浦晴生. 5. シイ・カシ類を殺菌剤樹幹注入で枯死予防. ナラ枯れ防除の新展開-面的な管理に向けて -: 12-13
185. 北島博, 衣浦晴生, 近藤洋史, 所 雅彦, 栗生剛 (和歌山県林試), 大谷栄徳 (和歌山県林試), 岡田充弘 (長野県林セ), 齊藤正一 (山形県森林研セ), 山中武彦 (農環研). 7. ナラ枯れの面的管理. ナラ枯れ防除の新展開-面的な管理に向けて -: 16-17

186. 所 雅彦, 衣浦晴生, 大谷徳栄 (和歌山県林試), 栗生剛 (和歌山県), 加藤 徹 (静岡県森林研セ). 太平洋型カシノナガキクイムシの誘引物質の探索. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 288
187. 大谷徳栄 (和歌山県林試), 山下由美子 (和歌山県林試), 衣浦晴生. アラカシ及びコナラの伐倒処理によるカシノナガキクイムシの発生頭数. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 154
188. 衣浦晴生. 殺菌剤の樹幹注入でナラ枯れを防ぐ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 115: 3
189. 長谷川絵里. サクラ類てんぐ巣病今昔. 森林総合研究所関西支所研究情報, 113, 3
190. 長谷川絵里. サクラ系統へのサクラ類てんぐ巣病菌接種試験. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 157
191. 高嶋敦史 (琉大農), 大島順子 (琉大観光), 久高将和 (国頭ツーリズム協会), 齋藤和彦. 沖縄島やんばる地域における亜熱帯性天然林の林分構造 - 60年生二次林と非皆伐成熟林の比較 -. 森林計画学会誌, 48 (1) : 27-34
192. 齋藤和彦. 第二次大戦末期の国頭村字奥における旧日本陸軍の薪炭生産. 平成 25 年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集 : 1-6
193. 齋藤和彦. 奥の猪垣と、山、開墾の利用 - 地図・空中写真に見る「農」と「林野」の関係 -. シシ垣サミット in やんばる・奥記録集, 6 : 29-34
194. 齋藤和彦. 林業道具豆知識 第 2 回 モバイル GIS. 森林総合研究所関西支所研究情報, 113 : 4
195. 齋藤和彦, 田中邦宏. 林業道具豆知識 第 4 回 測高器. 森林総合研究所関西支所研究情報, 115 : 4
196. 高橋與明, 齋藤和彦, 永田雅史 (長岡京市農林振興課). 管理状態の異なる竹林における波形記録式航空機 LiDAR データの特性. 森林総合研究所九州支所年報, 26: 23
197. 齋藤和彦, 親川 栄 (親川栄司法書士事務所), 宮城邦昌 (在那覇奥郷友会), 上原賢次 (沖縄勤労者山の会). 大正 10 年測量 5 万分 1 地形図で見た国頭村の地域景観. 平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会総会・研究発表会 : 21
198. 小高信彦, 大城勝吉 (Yambaru Green), 中田勝士 (環境省やんばる野生生物保護セ), 宮本麻子, 齋藤和彦, 八木橋勉. 沖縄島やんばる地域の固有種ノグチゲラの生物指標としての有効性. 日本生態学会大会講演要旨, 62: T17-4
199. 田中邦宏, 齋藤和彦, 近口貞介, 楢山真司. 和歌山市新宮地方のスギ人工林の成長と間伐について. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 65: 8
200. 田中邦宏, 齋藤和彦, 近口貞介, 楢山真司. 温暖多雨な紀伊半島南部におけるスギ高齢人工林の成長について. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 235
201. 吉村謙一, 小南裕志, 安宅未央子 (京都大農), 孫 麗娟 (京都大農), 深山貴文. 広葉樹二次林に生育する主要 3 種の光合成季節変動 - 森林群落の遷移を植物生理から理解することをめざして. 日本生態学会大会講演要旨, 62: F2-32
202. 吉村謙一, 才木真太郎 (京都大生態研), 白井誠 (日本大学生物資源), 乙成こずえ (日本大学生物資源), 矢崎健一, 中野隆志 (富士山科学研), 石田 厚 (京都大生態研). 小笠原乾性低木林樹木の夏の乾燥と野外灌水パルスに対する生理応答. 日本森林学会大会学術講演集, 126: 275
203. Naoki Makita (牧田直樹). Ayumi Kawamura (川村あゆみ・京都大). Temperature sensitivity of microbial respiration of fine root litter in a temperate broad-leaved forest (根リターからの微生物呼吸の温度感受性). PLoS ONE, 10 (2): e0117694

204. Naoki Makita (牧田直樹), Yoshiko Kosugi (小杉緑子・京都大), Mai Kamakura (鎌倉真依・京都大). Linkages between diurnal patterns of root respiration and leaf photosynthesis in *Quercus crispula* and *Fagus crenata* seedlings (根呼吸と光合成の日変化の繋がり). *Journal of Agricultural Meteorology*, 70 (3): 151-162.
205. Miyatani K (宮谷紘平・名古屋大), Makita N (牧田直樹), Tanikawa T (谷川東子), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Fine root morphology and respiration in old aged *Chamaecyparis obtusa* stands (ヒノキ壮齢林における細根の形態と呼吸). *International symposium on physiological processes in roots of woody plants*, 6: 83
206. Makita N (牧田直樹), Sugimoto T (神戸大), Ishii H (神戸大), Tanikawa T (谷川東子), Hirano Y (平野恭弘, 名古屋大). Changes in phyzio-morphology of root and shoot with spatial soi nitrogen heterogeneity in a 100-year-old cypress forest (樹齢 100 年のヒノキ林における根の形態と硝酸態窒素空間分布の変遷). *International symposium on physiological processes in roots of woody plants*, 6: 48
207. 宮谷紘平 (名古屋大), 牧田直樹, 谷川東子, 平野恭弘 (名古屋大). 東海地方に生育する高齢ヒノキ林細根の形態と呼吸速度の季節変動性. 根研究集会, 41